

音楽科学習指導案

5年1組（音楽室）

授業の視点

他のグループのプレ発表を聴いて、気付いたことを伝え合う活動を入れたことは、本発表に向けて自分たちの発表の工夫を練り直すのに有効であったか。

I 題材名

いろいろな音のひびきを味わおう 『リズムを選んでアンサンブル（音づくり）』

II 題材の目標

- ・楽器の音の特徴や音色の違い、旋律と旋律、旋律と伴奏が重なり合う響きを味わって聴いたり演奏したりする。
- ・楽器の音色や音が組み合わさる響き、音楽のしゅくみを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。

III 指導計画（全12時間扱い）

時間	学習活動
2	『小さな約束』（器楽） リコーダーの音が重なり合うひびきを感じながら演奏する
2	『いつでもあの海は』（歌唱） 歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱する
1	『アイネ クライネ ナハトムジーク第1楽章』『双頭のわしの旗の下に』（鑑賞） いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらきく
4	『リズムを選んでアンサンブル』（音楽づくり） 打楽器の音色や音楽のしゅくみを生かして、リズムアンサンブルをつくる
3	『リボンのおどり（ラバンバ）』（歌唱・器楽） いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏する

IV 本時の学習（本時は12時間中の8時間目）

1 学習のねらい

打楽器の音色や音楽のしゅくみを生かして、自分たちのリズムアンサンブルをつくる

2 準備・資料

〔教〕 小物打楽器

〔児〕 教科書 ワークシート 筆記用具

3 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価項目 (方法)
○ 「校歌」を歌う。	5分	○ 常時活動により、気持ちを音楽モードに切り替えさせる。	・楽器の音色やリズムを組み合わせ、反復・問いと答え・変化・音楽の縦と横の関係を生かして、リズムアンサンブルをつくっている。 「演奏聴取・ワークシート」
○ 今日の課題をとらえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> めあて：他の班のアンサンブルを聴いて、自分たちの工夫を練り直そう。 </div>		○ 今日は前回つくって練習したアンサンブルを発表し合い、練り直しをすることを伝える。	
○ 前回つくったアンサンブルを確認しながら1～2回練習する。	5分	○ 発表の時、聴きどころを発表してから始めるように伝える。	
○ 発表する。	15分	○ <u>聴いているグループは他のグループの発表を鑑賞し、気付いたことをワークシートに記入するように伝える。</u>	
○ 何人かの感想・気付いたことの発表を聞き、他の班の工夫を確認する。	5分	○ <u>1～2グループにもう一度発表してもらい、その班の工夫(強弱や終わり方などにも着目させる)を確認させる。</u>	
○ 自分たちの工夫を練り直す。	10分	○ 工夫を必ずワークシートに記入するように伝える。 ☆なかなか話し合いが進まないグループの支援をする。	
○ 1～2グループに練り直した工夫を発表してもらい、アンサンブルも発表してもらう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> まとめ：他の班や自分たちの表現のよさに着目し、今後どのような工夫を試していきたいか振り返る。 </div>	5分	○ 次回は練り直した工夫を口頭で発表してから実際に発表してもらうことを伝える。 ○ 次回の見通しを持たせる。	

V 指導上の留意点

- ※『音楽のしくみ』とはどんなものなのか分かるように、第1時において「一人ずつ・増える・減る・問いと答え・いっしょ・繰り返し・強弱」などを取り入れた例(教師がつくったものや教科書の例)を実際にやってみる活動を取り入れる。
- ※楽器を選ぶ際は、木・皮・金属の材質の違う打楽器を3人がそれぞれ選ぶ方が良いことを伝える。
- ※『打楽器の音色』を生かしたリズムアンサンブルができるように、第2時において、選んだリズムと楽器を「試す時間」を取り入れる。選んだリズムを選んだ楽器で演奏したとき、また3人で合わせたときに自分の表したい音やリズムになっているのか確認させる。
- ※1～10回分の繰り返し方や重ね方の工夫(音楽のしくみ)をワークシートに記入させ、発表の時に「自分の班の聴きどころ」として工夫したことを発表させることにより、聴いている側にも発表する側にも意識をしっかりと持てるようにさせる。
- ※プレ発表により他の班の工夫を鑑賞し、何人かの感想・気付いたことを発表してもらい、様々な工夫を共有してから、練り直す時間を設けることで、他の班の良さを取り入れ、自分の班のアンサンブルをよりよいものにしていけるようにする。
- ※「強弱・終わり方」も工夫してよいことを伝える。
- ※ワークシートを工夫し、授業の流れに沿ってスムーズに活動できるようにする。また、構成を書きながら話し合うと、全体を把握しやすいことを伝える。さらに、工夫したことや練り直して変更した点などを書き残すことで、児童の振り返りや教師の評価がしやすいようにする。

5年 組 名前

- 他のグループの発表を聴いて、工夫していたこと・気づいたこと・いいなあと思ったことなどを書きましょう。自分のグループのところには、工夫したこと、がんばったこと、つくってみて、発表してみたの感想などを書きましょう。

プレ 発表	工夫していたこと ～音色（音の出し方）・重ね方・強弱・終わり方～	感 想
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

《 1番良かった班とその理由 》

- 他の班を参考に、自分たちの班のアンサンブルを練り直そう。

名前 \ 回数												終わり方

《 自分たちの班の工夫したところ・変えてみたところ・聴いてほしいところ 》

- まとめ

◎自分たちがつくってみて・発表してみての感想、工夫したところ、がんばったこと
◎学んだこと・わかったこと